

KIPスリムタイプ



型式認定評価適合品

露出型 埋込型

KIP-スリムタイプ

H	W	D
1300	600	250

内部格納器具

- バルブ 30A×90° 起動スイッチ付 1個
- 自動圧力調整弁 1個
- ユニット 一式
- ノズル 30A 噴霧ノズル 1本
- ホース 30A×30m 1本

自動圧力調整弁 [KIP]



自動圧力調整弁 仕様/性能表

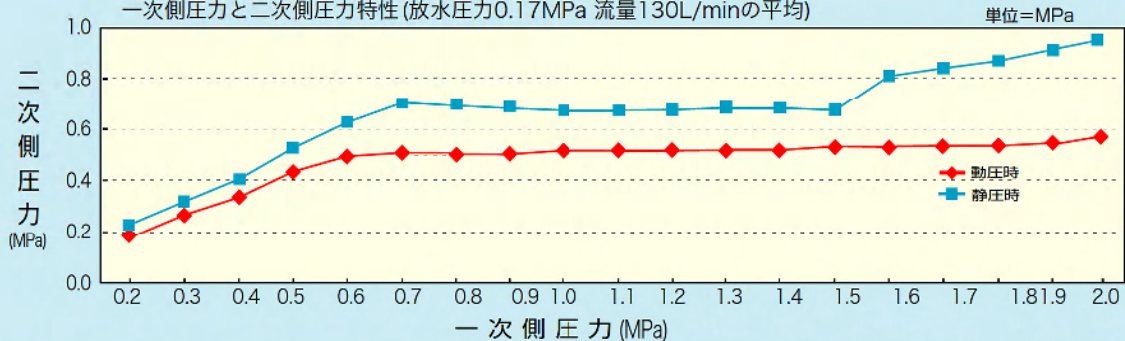
仕様 (一次側圧力: 2.0MPa)

日本消防検定協会品質評価合格品

流体	呼び径	定格流量 (L/min)	主要部の材質 (JIS H)
水	30	130	5121

減圧装置(自動減圧媒介)性能曲線

一次側圧力と二次側圧力特性 (放水圧力0.17MPa 流量130L/minの平均)



易操作性1号消火栓の識別標示ラベル

屋内消火栓の設置工事の際に「自動減圧仕様」「標準仕様」の易操作性1号消火栓が設置されていることを確認し易いようにするために統一した「識別ラベル」を製品本体(右図)と梱包に貼付することになりました。標準仕様(減圧機構は内蔵されません)は白ラベル、自動減圧仕様は青ラベルとします。

消火栓

種類 易操作性1号消火栓
 型式 壁面設置型折疊み等収納式 呼称30
 型式番号 認評栓第 ~ 号
 識別番号 IHR-1
 最高使用圧力 2.0 MPa
 減圧設定圧力 1.3 MPa
 設計圧力損失値 MPa
 製造年
 製造番号

合格証



特長

共同住宅等のスプリンクラー設備配管は、建築物の高層化に伴い機器使用圧力範囲を超える加圧送水装置の設置による減圧処置の必要性が生じています。

従来は

- ①加圧送水装置をゾーンごとに分ける。 ②配管ゾーンごとに分け、主管に減圧弁を設ける。
- ③圧力不足ゾーンにブースターポンプを設ける。

等の施工方法が一般的で、これらの施工方法は「コスト」、「スペース」面で大きな負担となっていました。

これらの問題を解決するため、「SP-KIP40」の姉妹品「SP-KIP50」を開発しました。

(財)日本消防設備安全センター認定品 SP-KIP40 VA-089号 SP-KIP50 VA-088号

設備配管の簡素化

トータルコストの低減

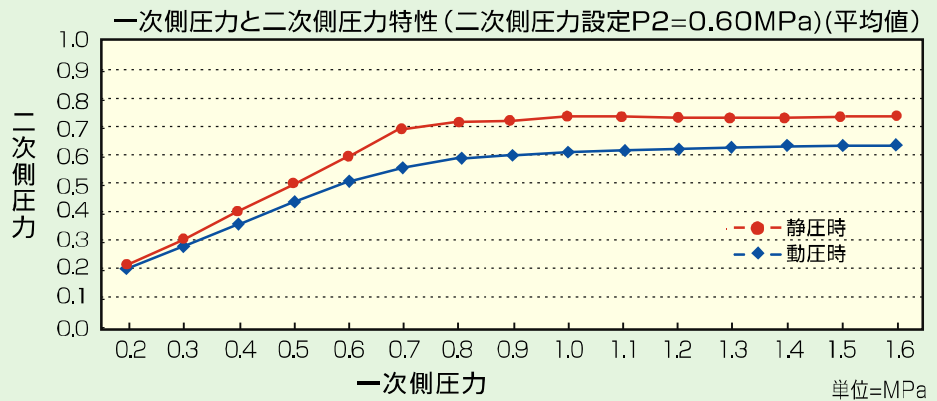
SP-KIP50によって煩雑化するゾーン配管の簡略化がさらに容易になりました。

SP-KIP50



SP-KIP50 性能

流体	呼び径	二次側圧力設定 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)	主要部の材質	管接続口
水	50	0.6	1.6	JIS H 5121 (CAC406)	50A(Rc2)

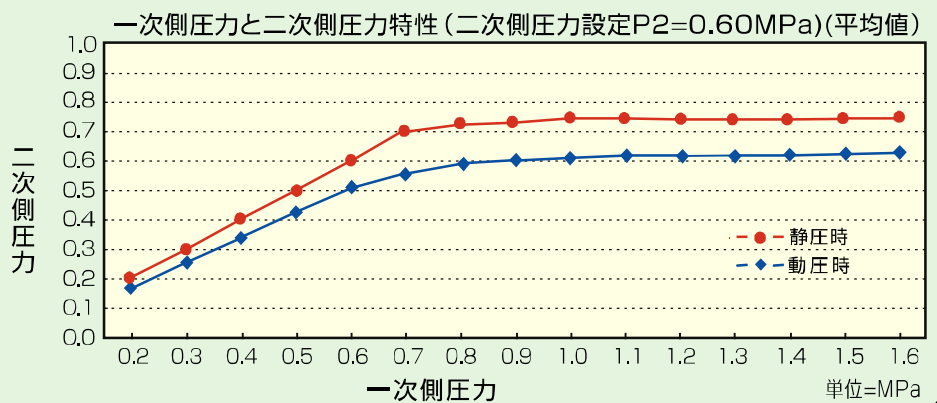


SP-KIP40



SP-KIP40 性能

流体	呼び径	二次側圧力設定 (MPa)	最高使用圧力 (MPa)	主要部の材質	管接続口
水	40	0.6	1.6	JIS H 5121 (CAC406)	40A(Rc1½)



共同住宅に係わる消防設備等の技術上の基準(消防予130号)6放水性能等。(平成8年9月30日付 消防長訓(予)第91号)

1) 4個のスプリンクラーヘッドを同時に使用した場合に、それぞれの先端において放水圧力が0.1MPa以上でかつ放水量が50L/min以上で放水できる性能。

※規則第14条1項11号(二)加圧送水装置には、スプリンクラーヘッドにおける放水圧力が1.0MPaを越えない為の措置を講じること。